

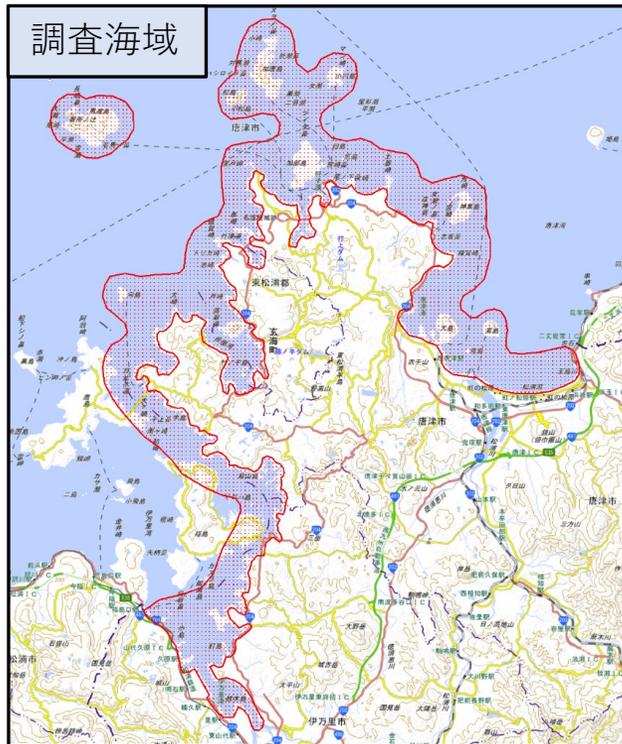
佐賀県玄海海域における 藻場保全の取り組み

佐賀玄海漁業協同組合青壮年部
袈裟丸マリン合同会社 袈裟丸彰蔵
佐賀県玄海水産振興センター 大庭 元気

佐賀県の藻場の現状

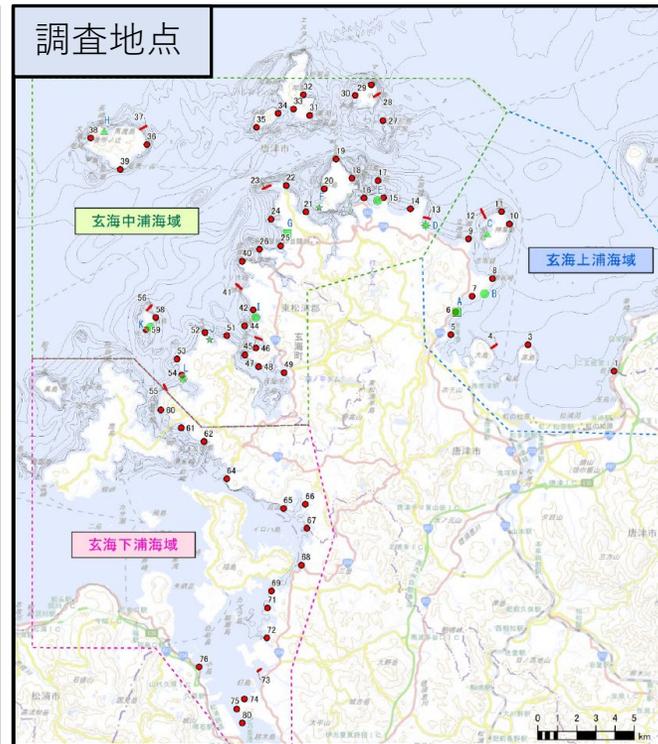
藻場分布調査

衛星画像解析



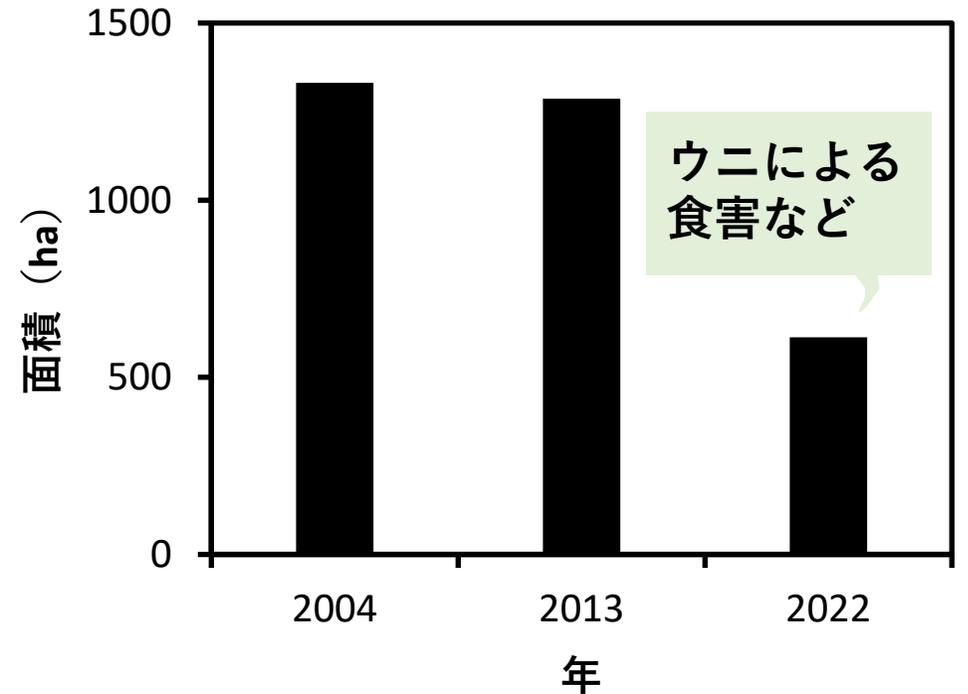
藻場の分布

現地調査



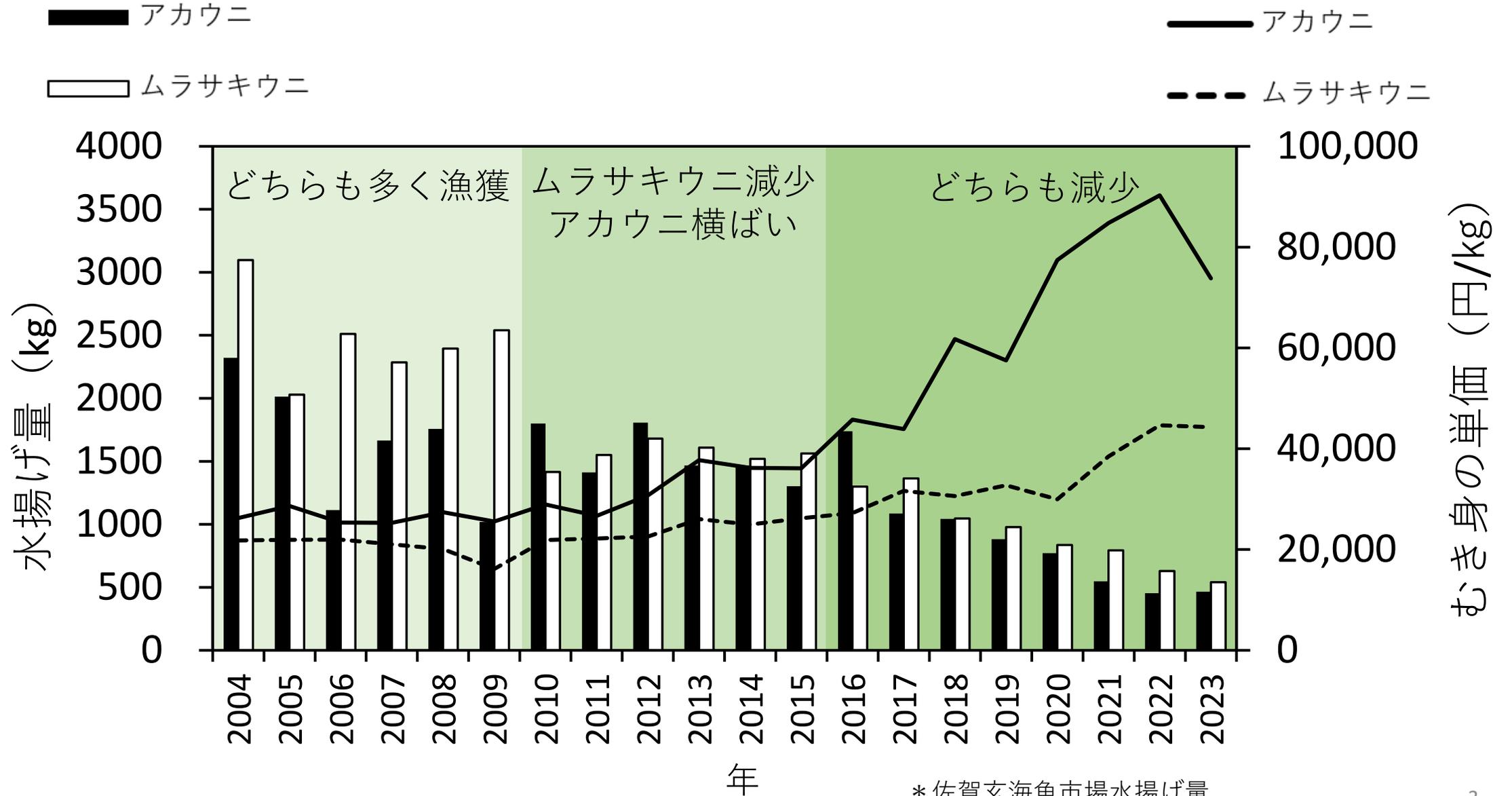
藻場の種類・被度

佐賀県玄海海域の藻場の面積



佐賀県の藻場の面積は
10年間で半減

佐賀県のウニの水揚げ量



事例紹介_唐津市鎮西町



氏名：袈裟丸 彰蔵

職業：海士漁業

カキ養殖

多面的機能発揮活動サポート専門家



海づくりは食づくり

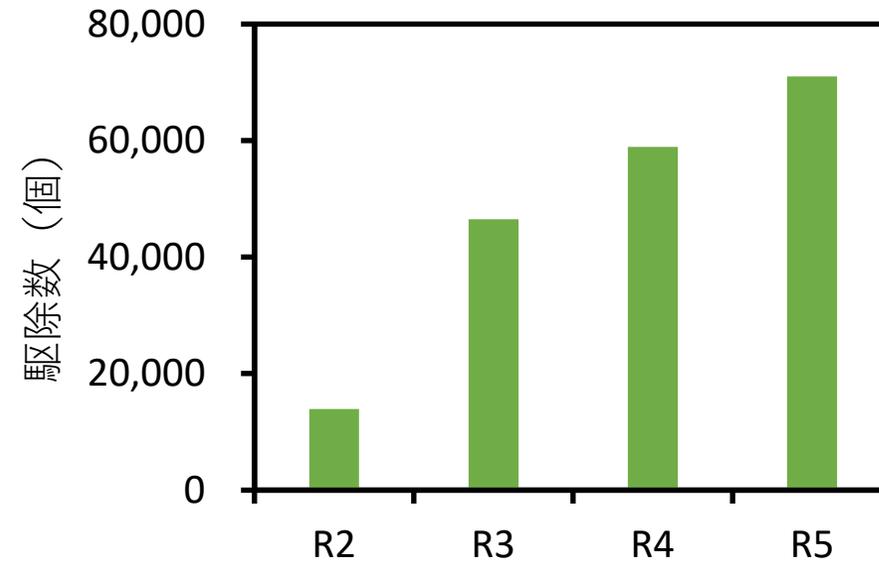
藻場保全活動で意識していること

- ◆ 海藻の減少要因を**減らす**
- ◆ 活動を**続ける**
- ◆ 保全海域を**広げる**



Point①海藻の減少要因を減らす

- ◆個人的な駆除活動は20年間以上継続
- ◆平成22年には藻場保全活動組織を設立



* 多面的事業活動組織
(鎮西地区藻場保全活動の会) のみの実績

ウニを徹底的に駆除

Point②活動を続ける

2016年7月



2021年4月



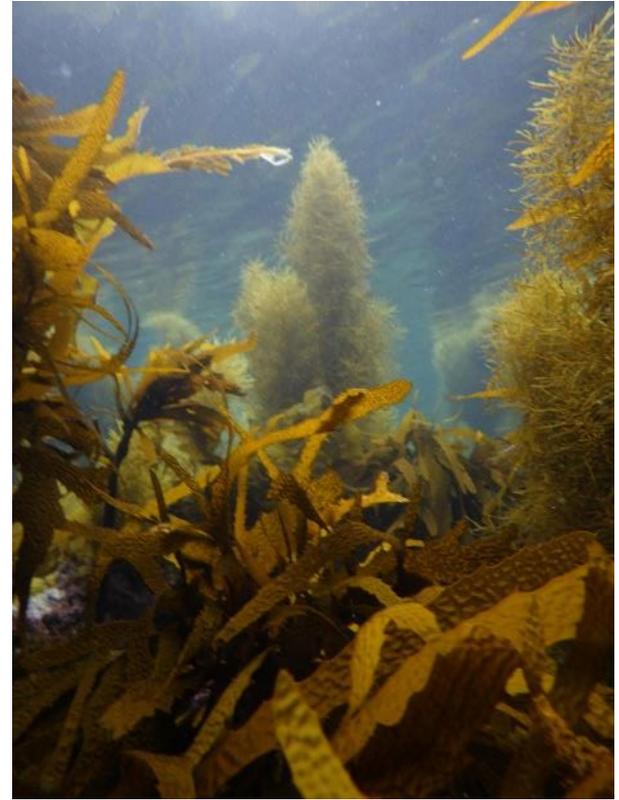
海藻が生えるまでウニ駆除を継続

Point③保全海域を広げる



毎年少しずつ活動エリアを広げる

活動海域の様子



長年のウニ駆除活動により藻場が回復

活動結果

- ◆これまで**11ha**の藻場を回復
- ◆**2022年以降Jブルークレジット** 認証を取得

年	認証量
2022	41.1t
2023	35.3t



にっぽんの宝物 2023-2024

● 地方の宝の原石を磨き、育てる ●

評価基準：品質および背景など

地域大会



日本大会



長年の取組と自慢の味が評価されにっぽんで一番に！

にっぽんの宝物 世界大会@シンガポール



準グランプリを受賞

唐津市との連携

自然共生サイトへの認定



地元小学校の環境教育・
ブルーカーボン創出の取り組み

出前授業



アマモ場造成



市民への啓発イベントの実施

海洋ごみの回収



「アマモ」の種苗投入



街中の清掃活動等
啓発イベント etc. 13

佐賀県の取組_さがの水産資源回復促進事業

(県単、R5~8)

目的：藻場と磯根資源の持続的利用



ウニ駆除



アカウニ大型種苗の放流

藻場保全

資源量回復

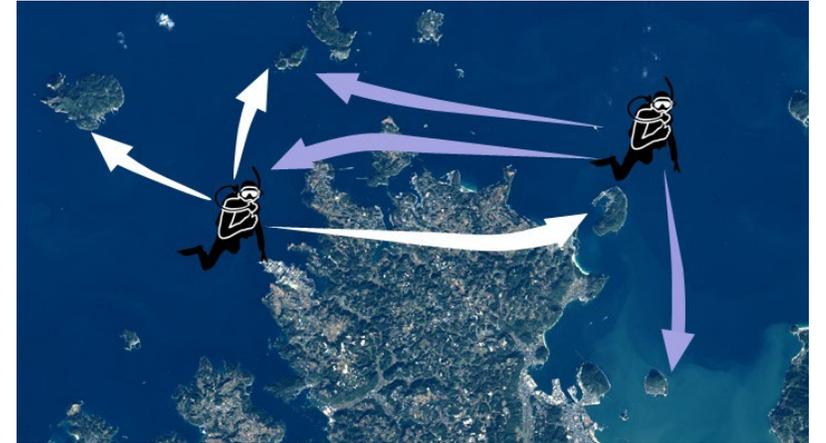
収入増・経営安定

ウニ駆除の高度化

- 従来：各浜で**地元漁業者**が**素潜り**で駆除
- 課題：駆除が追いつかない



ウニ駆除を**地区を超えて**
スキューバ潜水で行う
「**ガンガゼバスターズ**」を結成



活動場所_ガンガゼバスターズ

従来

本事業

地点数



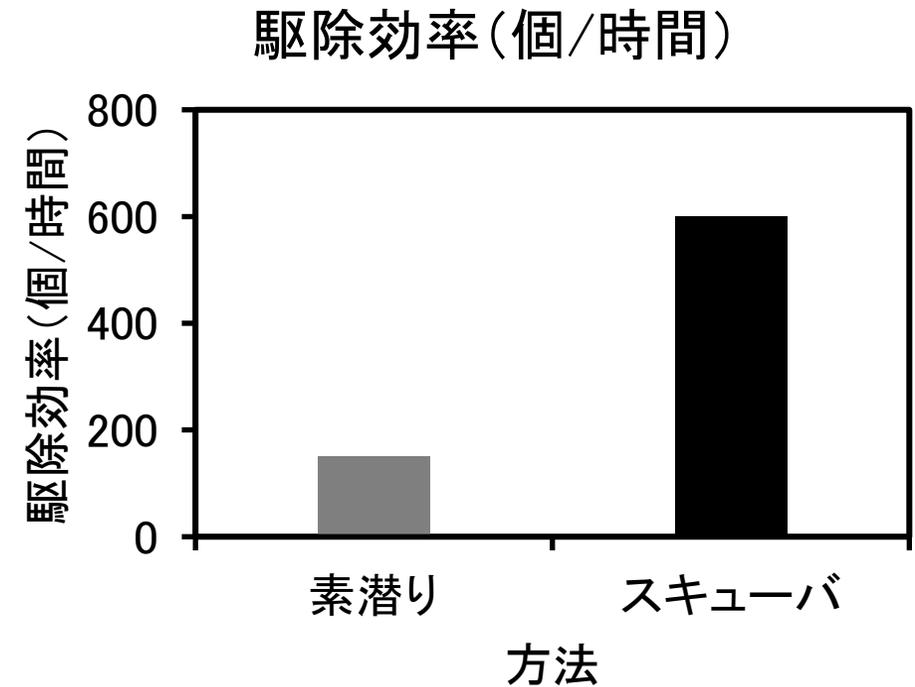
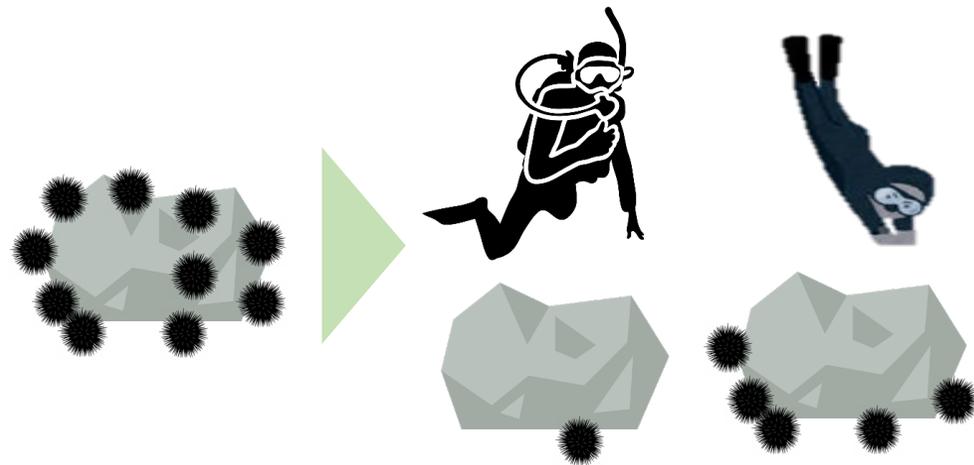
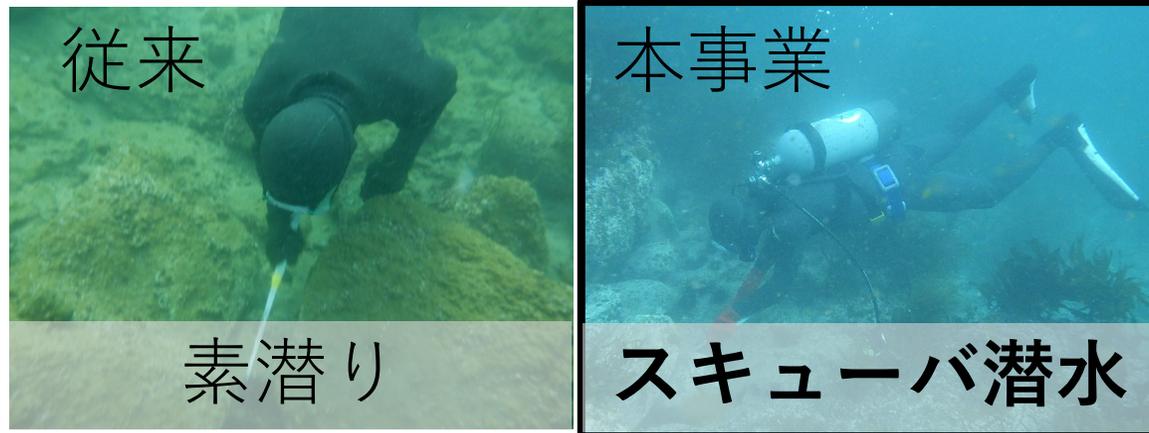
集中駆除

活動場所の
海藻の有無



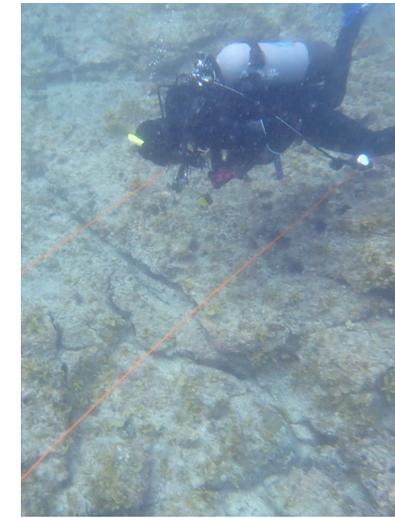
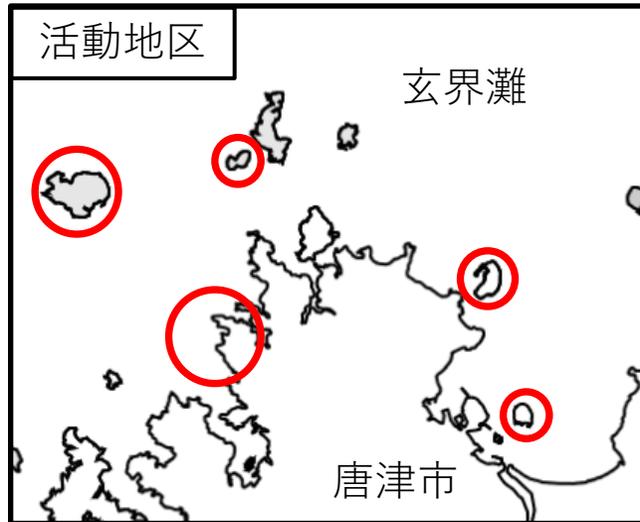
早期回復

駆除方法_ガンガゼバスターズ



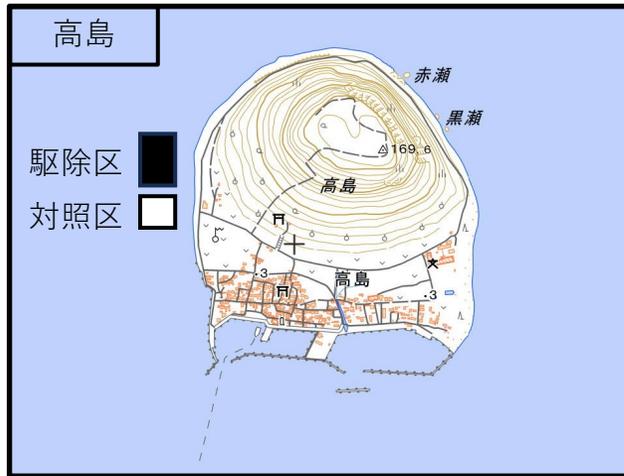
効率が良い

結果_ガンガゼバスターズ



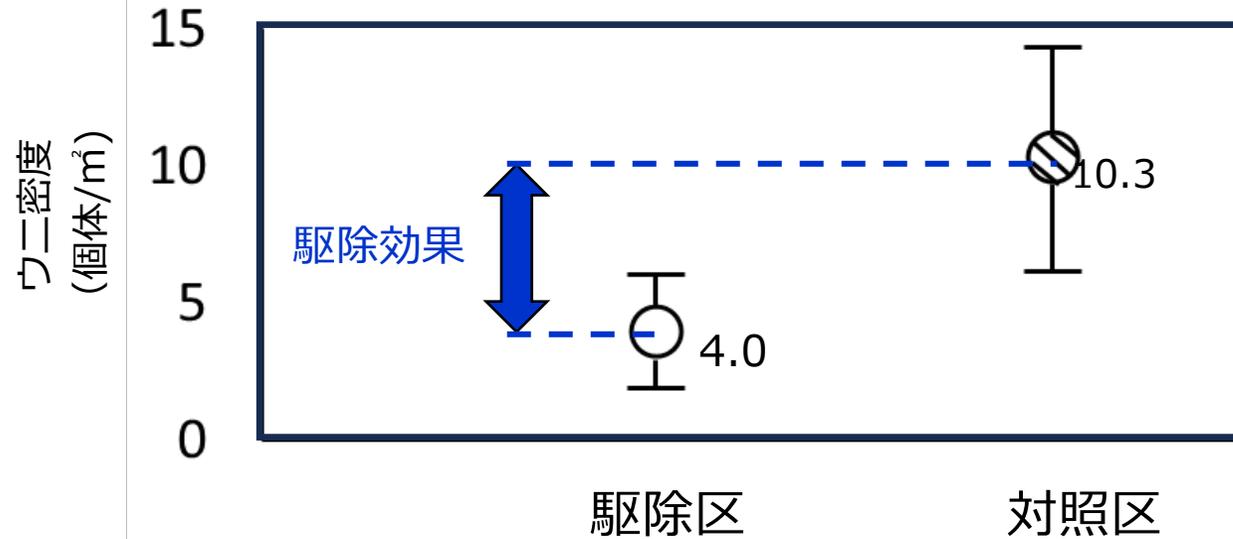
項目	R5	R6	合計
駆除日数	39日間	37日間	81日間
延べ人数	400人	407人	807人
合計駆除数	約65万個	約51万個	約116万個

令和6年度結果_ガンガゼバスターズ



出典：国土地理院地図

高島における駆除効果把握調査



駆除区

海藻被度：40~60%

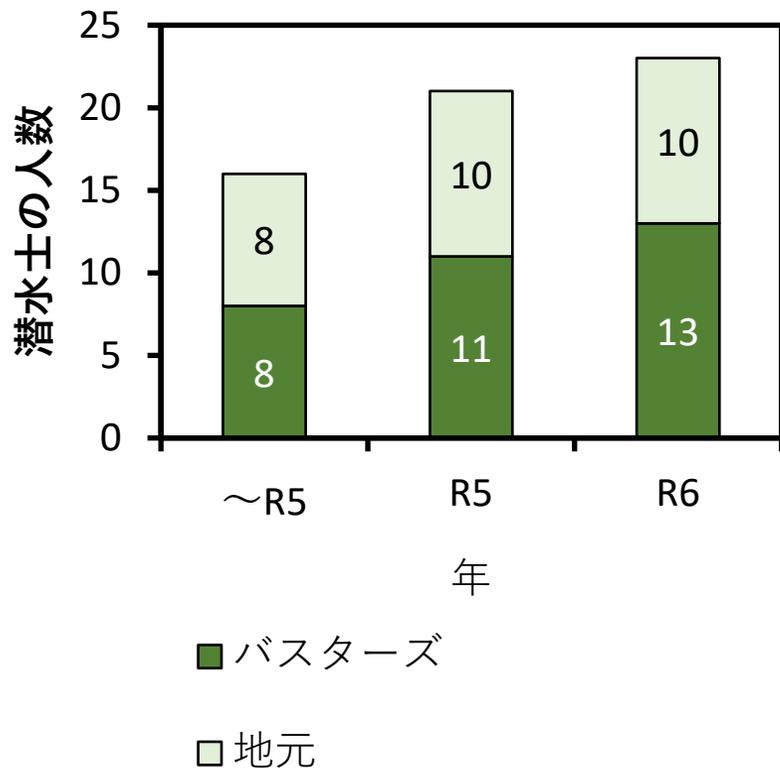
対照区

海藻被度：0~20%

駆除により
海藻の被度が回復

ガンガゼバスターズの副次的効果

潜水士の増加



潜水技術・機材の普及

漁業者同士のつながり



駆除道具の改良

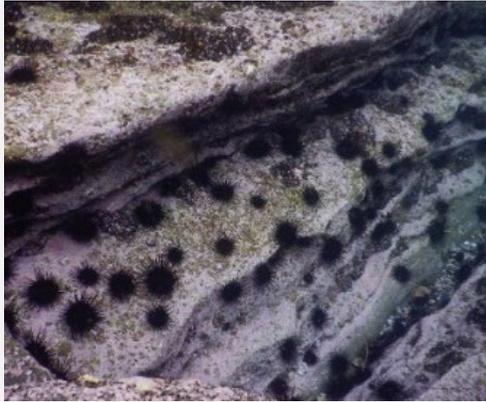
漁業者の意識向上



自主的な駆除が増加

ムラサキウニの駆除

過密なムラサキウニ



漁獲



有効活用



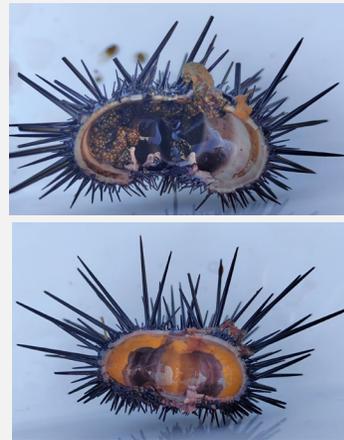
身入り○

身入り×

廃棄

身入り△

畜養

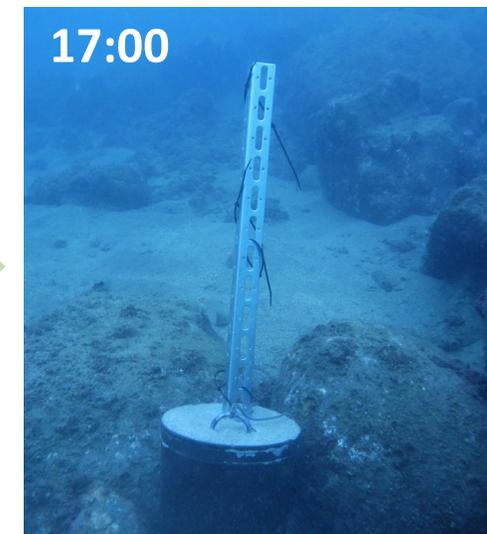
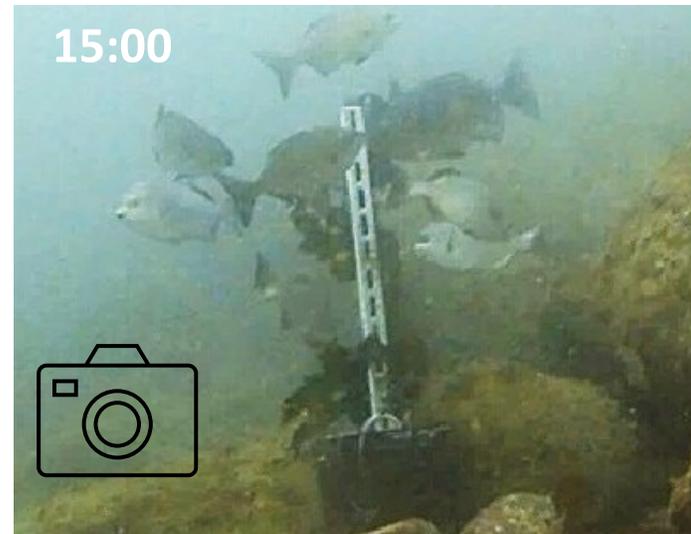


獲り残された
ムラサキウニの
駆除を促進

ウニによる食害以外の磯焼け要因



植食状況調査_2024/10/17 水温23.5°C



植食魚類対策を実施予定

まとめ

- ◆佐賀県の藻場はウニの食害等により磯焼け
- ◆磯根資源は減少傾向
- ◆徹底したウニ駆除により藻場回復した事例を確認
- ◆藻場があれば高品質のウニを供給可能
- ◆県はウニを駆除する仕組みを整備
- ◆植食魚類も確認、新たな対策を実施予定